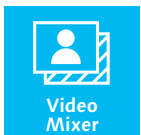
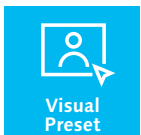
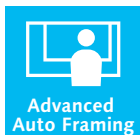
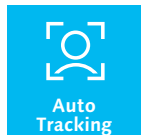
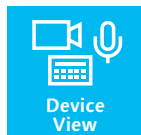


Panasonic

ソフトウェアラインナップ
放送・業務用映像システム

カメラとソフトウェアとの組み合わせで より効率的で簡単な運用・撮影を実現



本カタログ掲載商品の価格には、配送・設置調整費、工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。

Media Production Suite が カメラシステムの効率的な運用をサポート

オンライン講義やウェビナー、学会、講演会、スタジオなど、パナソニック製カメラを活用した様々なシーンでの映像撮影を、さらに高品質・円滑にする様々な機能を提供するソフトウェアプラットフォームです。基本機能としてデバイスの一元管理・モニタリングなどの機能を提供し、慌ただしい撮影現場でのカメラのセットアップ/管理/制御を効率化。さらに有償プラグインによって提供される多彩な機能でオペレーションをサポートし、少ない人数で質の高い映像演出が可能になります。

Media Production Suite
ご紹介動画

<https://www.youtube.com/watch?v=twBasPEvQ98>



円滑な映像撮影を
サポートする **基本機能**

目的に合わせて
拡張できる **有償プラグイン**^{※1}

Device View (機器管理)

リモートカメラの効率的な
設定・運用をサポート



>>> 詳細は 4 ページへ

Auto Tracking (自動追尾)

顔認証と人体検出による
高精度な追尾が可能



>>> 詳細は 6・7 ページへ

NEW

Advanced Auto Framing^{※2} (オートフレーミング)

リモートカメラを用いて構図にこだわった
自然で高品位な映像を自動で撮影



>>> 詳細は 8 ページへ

PTZ Control (リモートカメラ制御)

複数のリモートカメラの撮影映像を
確認しながら、PCで一括コントロール。



>>> 詳細は 5 ページへ

Visual Preset (ビジュアルプリセット)

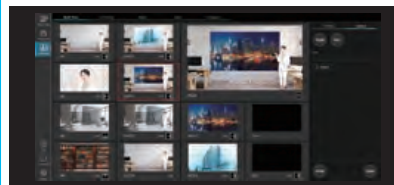
複数台のリモートカメラの撮影ポイントを
ワンクリックで一括切り替え



>>> 詳細は 9 ページへ

Video Mixer (映像合成)

撮影場所を選ばず被写体のキーイングを
実現でき、簡単操作で映像合成も可能



>>> 詳細は 10・11 ページへ

Media Production Suite

※1:P12「Media Production Suiteの有償プラグインを使用するまえに」をご参照ください。

※2:2025年度第1四半期発売予定。商品は開発中のものです。実際の仕様とは異なる場合があります。

従来のリモートカメラ用各種ソフトウェア(EasyIP Setup Tool Plus、PTZコントロールセンター、自動追尾ソフトウェア)をご使用中のお客様

リモートカメラ用各種ソフトウェアはMedia Production Suiteに統合されます。(PTZバーチャルUSBドライバーを除く)

従来のソフトウェアも引き続きご使用いただけますが、今後の機能アップデートはMedia Production Suiteでのみ実施いたします。すでにAW-SF100G/200G/202G/203G、AW-SF300Gのライセンスをお使いいただいている場合、継続してMedia Production Suiteの有償プラグインとしてご利用いただけます。

※一部仕様差がございます。

●詳しくはこちら: https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/faq/JP/faq_mps.htm

スマート運用と幅広い映像表現を叶える ソフトウェアプラットフォーム

Media Production Suite



特長

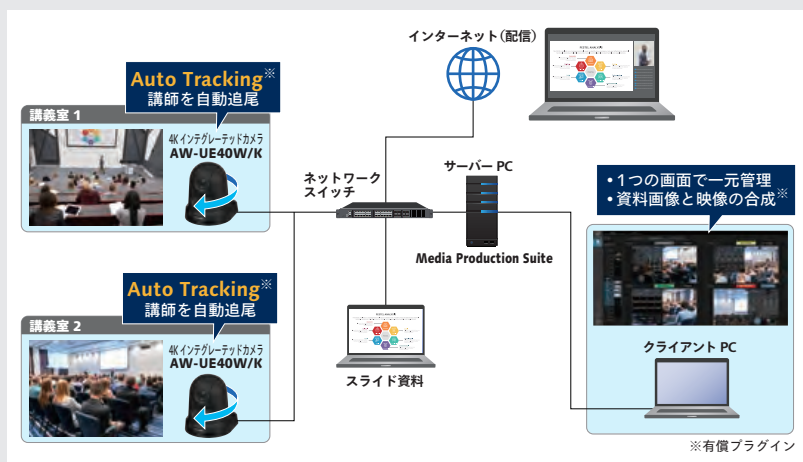
- ▶ スマートオペレーションで運用をより効率的に
- ▶ 目的に合わせて追加できるプラグインで表現の幅が広がる
- ▶ 各種機能を共通のGUIで直感的に操作可能

● 活用イメージ

CASE 01

複数教室の講義配信用 カメラを手間なく管理

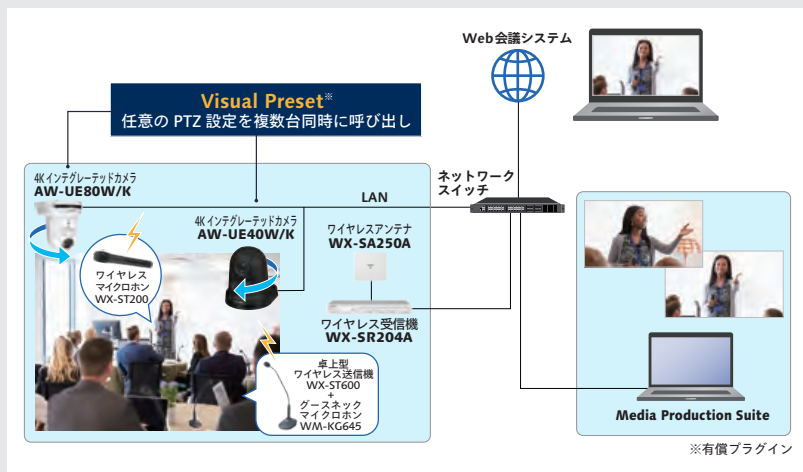
異なる教室のリモートカメラを1台のPCで管理可能。大学内の全教室にカメラを設置するような大規模な運用でも、カメラの接続状態を一覧で確認でき、ファームウェアのバージョンアップも自動で行うことができます。さらに、有償プラグインのAuto Tracking（自動追尾）を活用することで、撮影のための人員確保も専用コントローラーも不要となり、日々の講義収録・配信が効率的に行えます。



CASE 02

簡単操作で臨場感ある ハイブリッド会議を実現

有償プラグインのVisual Preset（ビジュアルプリセット）を活用することで、PC画面上のアイコンをクリックするだけで全てのカメラを話者に向けてことができます。さらに、リモートカメラとパナソニック製ワイヤレスマイクロホンを連携させると、マイクで話している人物にカメラが向くオート撮影が可能。誰が発言しているか分からないといったハイブリッド会議での課題を解決することができます。



動作環境についてはこちらをご覧ください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav/software/mps>





Device View

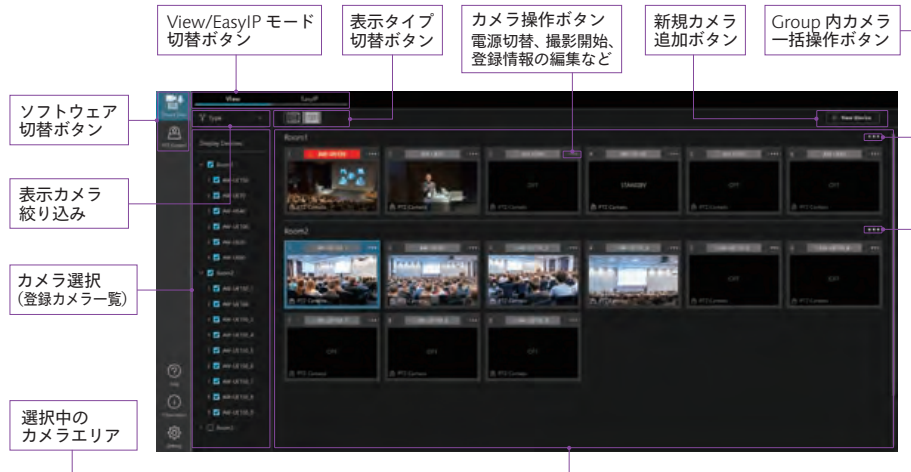
(機器管理)

PC に接続されたリモートカメラを自動で検出して一覧表示。
複数のカメラを使用した撮影現場で効率的な運用をサポートします。

1. 接続機器の状態を一覧で確認できる View モード

リアルタイムでの 状態確認が可能

電源の ON/Standby やタリーなど接続中の各機器の状態を一覧で表示。各カメラのサムネイルは撮影中の映像が表示されるため、同時に複数のカメラの角度を確認できます。電源の操作なども GUI 上から可能です。また、機器に任意のグループを設定することもできます。



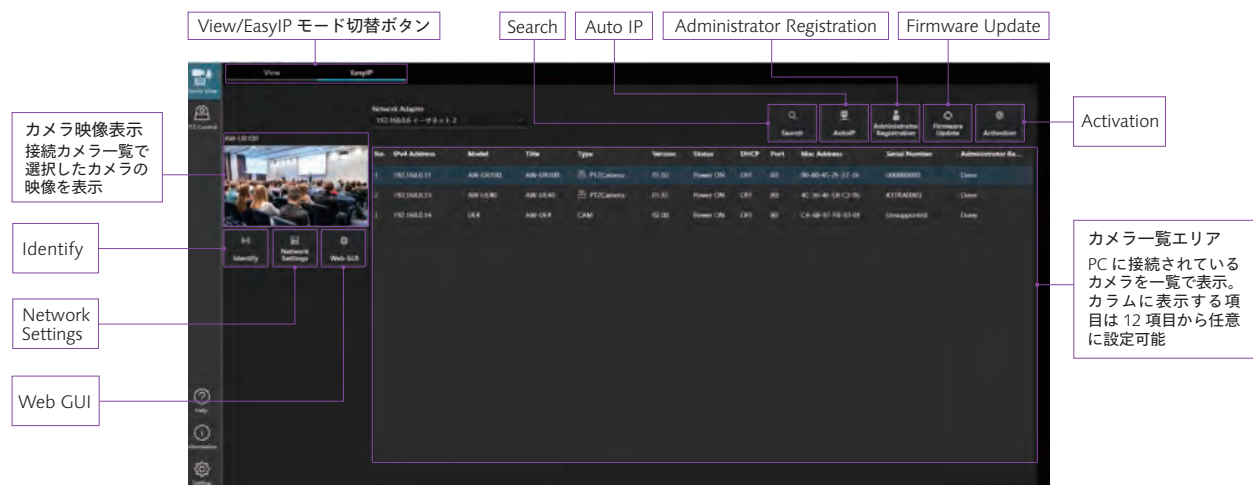
2. 各種設定を一括管理できる EasyIP モード

現場での効率的な準備が可能

PC に接続されたパナソニック製リモートカメラを検出して一覧表示します。IP アドレスやバージョン番号などのカメラ情報の確認や、カメラの設定を行うことができます。例えば、選択した複数台のリモートカメラに連続した IP アドレスを一括で割り当てて、準備時間の短縮をサポートする Auto IP (IP アドレス自動割り当て機能) や任意のリモートカメラの電源ランプを高速点灯させてどのカメラが選択されているのかを素早く把握する Identify^{*1}、選択したリモートカメラに管理者アカウントを一括設定する Administrator Registration (管理者アカウント一括登録機能)^{*2}などが可能です。

日常の管理・メンテナンス業務を 効率化する各種機能

GUI 画面から任意のリモートカメラのネットワーク設定情報を変更する Network Settings や選択したリモートカメラのブラウザ上の GUI へ遷移する Web GUI、ウェブサイトへアクセスせずに自動でリモートカメラのファームウェアをバージョンアップできる Firmware Update (ファームウェアアップデート機能)^{*3}を使用できます。また、NDI[®] HX のアクティベーションや、AW-UE160W/K を SMPTE ST 2110 に対応させるアクティベーション (有償オプションソフトウェアキー AWSFU60G が必要です) も可能です^{*3}。



※1: AW-UE160W/K, AW-UE150W/K, AW-UE100W/K, AW-UE80W/K, AW-UE50W/K, AW-UE40W/K, AW-UR100GJのみ対応。 ※2: AW-UE160W/K, AW-UE150W/K, AW-UE100W/K, AW-UE80W/K, AW-UE50W/K, AW-UE40W/K, AW-UR100GJのみ対応の機能です。一度変更した管理者アカウントの再設定はできません。 ※3: PC をインターネットへ接続する必要があります。

対応製品・動作環境はこちらをご確認ください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav/software/mps/dv>





PTZ Control

(リモートカメラ制御)

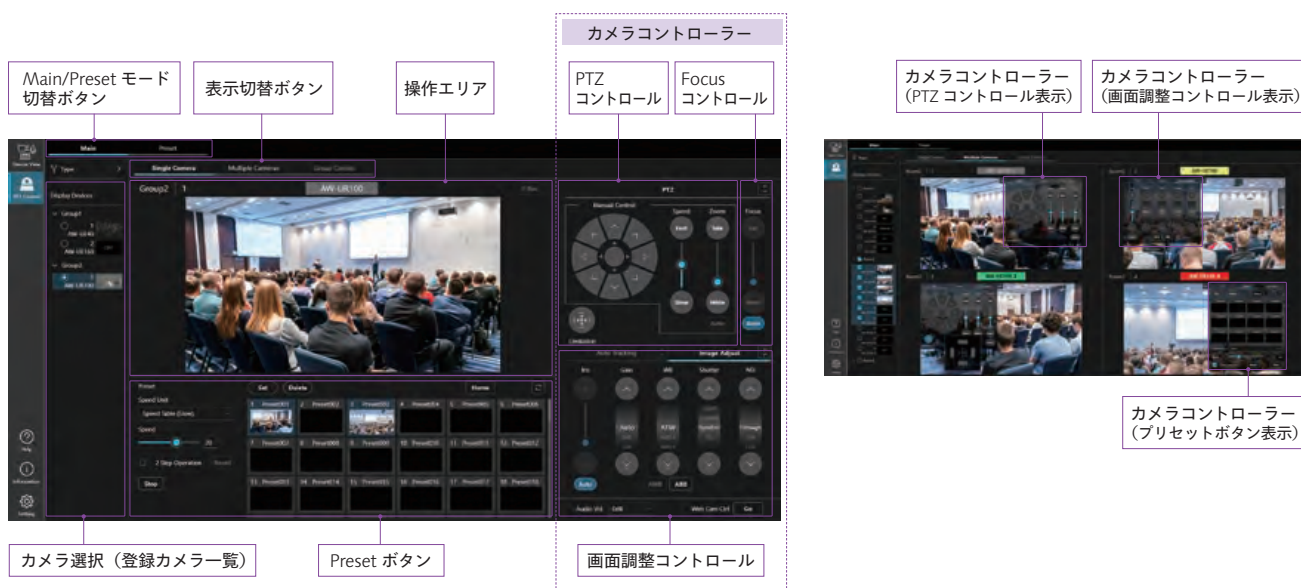
PC からリモートカメラのコントロールが可能。PC 画面上で映像を確認しながら、カメラのパン・チルト・ズームや画質調整を円滑に行うことができます。

1. 直感的な操作が可能な Main モード

映像も操作盤も見やすい GUI で直感的に制御・操作

Mainモードでは、リモートカメラを PC 画面上で直感的に制御可能。カメラのパン・チルト・ズームはもちろん、Focus、Iris、Gain、White Balance、Shutter、ND Filter などの画質調整が行えます。また、100 カ所までのプリセットをサムネール付きで表示できるので呼び出しもスピーディです。1～4

台のカメラを選択し 1 画面から個別に操作できるだけでなく、Concurrent Control モードでは最大 16 台のカメラを同時にコントロールできます。一連のカメラ動作を簡単にプログラム化して撮影の自動化を実現するマクロ機能も将来追加予定です。



2. 一覧表示で確認、管理しやすい Preset モード

プリセットを管理しやすくする Preset List 画面

Presetモードでは、プリセットの一覧表示と登録・変更が可能。画面表示方法は、カメラ 1 台のプリセットをまとめて表示する Single モードと、複数台のプリセットを並べて確認できる Multiple モードの 2 種類。Preset List の背景色をカスタマイズして見やすくすることもできます。

複数カメラを効率的に一括制御・管理

パン・チルト・ズームやプリセットの登録/呼び出し/削除、Focus、Iris などの制御を任意の複数カメラに対して同時に実行可能です。



対応製品・動作環境はこちらをご確認ください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav/software/mps/ptz>





Auto Tracking

(自動追尾)

顔認証と人体検出による高精度な追尾技術で動き回る被写体をとらえて撮影。カメラオペレートをすることなく簡単に“伝わる講義動画”を制作できます。

90日間
無料
トライアル

Auto Tracking ソフトウェアキー

AW-SF100G

[カメラ1台制御 ライセンス]
本体希望小売価格 185,400円(税抜)

AW-SF200G

[カメラ複数台制御 基本ライセンス]
本体希望小売価格 257,500円(税抜)

AW-SF202G

[2ライセンス追加]
本体希望小売価格 442,900円(税抜)

AW-SF203G

[3ライセンス追加]
本体希望小売価格 515,000円(税抜)



1. “顔認証” + “人体検出” による高精度な自動追尾

撮影が難しい環境でも登録された顔を 検出する高い精度の顔認証

ソフトウェアに顔情報を登録することで、映像の中の顔の位置を検出し、精度の高い自動追尾を実現。大講義室などの広い会場でも、イベント会場など薄暗い環境での撮影でも、パナソニックが独自に作成したライブラリによって、小さい顔・見えにくい顔の位置をすばやく検出・認証します。

※顔認識のデータはローカルPCにのみ保存され、外部ネットワーク上の外部サーバーには保存されません。

話者が教室から退出して見失った際などは 広い画角で表示し、再検出すると追尾を再開

話者を見失った際に映像は広いホームポジションの画角へ滑らかに移動して表示。対象を検出すると追尾を再開します。そのため撮影された映像は画面の乱れが少なく安定し、撮影者は円滑に運用することができます。また、授業を受けている学生も安心です。

マスクなどで顔が隠れていても しっかりと追尾できる高精度の人体検出

マスクなどで顔が隠れている場合でも、ディープラーニング技術による高精度の人体検出機能によって話者を自動追尾することが可能です。また顔認証の登録をせずに、映像内に人が検出された時点から追尾を開始することもできます。画面全体に対して1~2%ほどの大きさの人体映像であっても検出でき、壇上で動き回ったりしゃがんだりと最初の検出時と体勢が変わる際や、演壇や教卓などに体の一部が隠れてしまう時も話者を見失いません。

2. 簡単操作・簡単設置

直感的に設定作業が行えるGUI画面を採用

自動追尾設定は直感的なGUIで容易に行え、撮影するオペレーターの負担も大幅に軽減されます。



※使用状況によっては、追尾対象の誤検出、追尾対象を追従できない場合がありますので、オペレーターによる補正作業ができる環境でご使用ください。

センサーなどの追加機器が不要、 コストを抑えた簡単設置を実現

サーバーやPCへMedia Production Suiteをインストールすれば、4K/HDインテグレートドカメラと接続することで簡単に自動追尾システムの構築が可能。センサーなどの新たな設置は不要です。システムの構成が容易で、新たな機器を追加する必要がないため、初期コストを軽減することができます。

IPベースソフトウェアの採用で、 遠隔操作に対応

IPベースのソフトウェアを採用、IP接続による運用(IPストリーミング/IPコントロール)により、遠隔教室への設置・操作も可能です。



3. マルチカメラ運用

複数台の一括管理

1GPUあたり最大8台まで制御できます。また、Multiple Cameras tab を使うことで最大4台のカメラを詳細に管理可能。オペレーターの負荷を軽減し、被写体をロストした際もいち早く通常の自動追尾状態に戻すことができます。



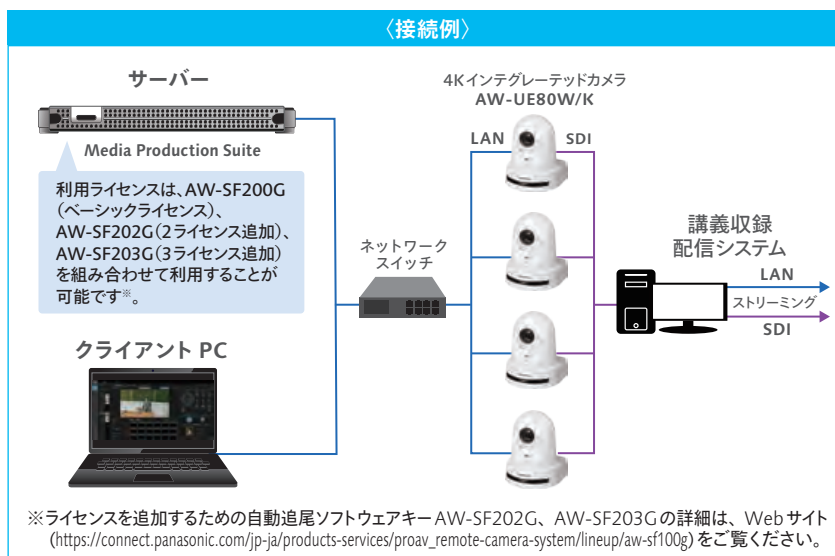
4. 選べる2つのライセンス

システムの規模に合わせたライセンス選択が可能

AW-SF100Gは1台のカメラの制御、AW-SF200Gは複数台のカメラの制御が可能で、ユーザーの使用環境に合わせた柔軟な運用を可能にします。

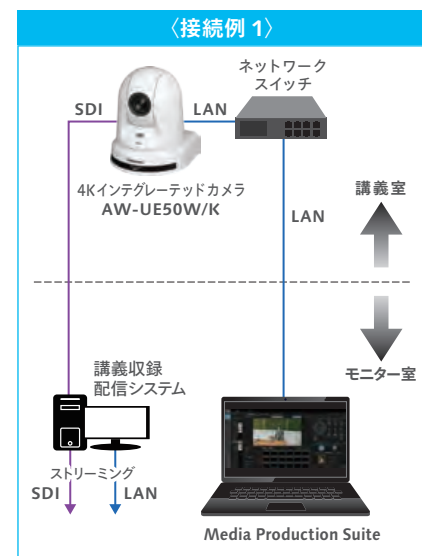
● 学校まるごと撮影を実現する AW-SF200G 活用例

大ホールの複数台のカメラや複数教室に設置されたカメラをサーバーで同時自動追尾、一括制御。



● 教室まるごと撮影を実現する AW-SF100G 活用例

1台のカメラを1台のパソコンで自動追尾、制御。



● 様々なシーンで自動追尾が活躍



対応製品・動作環境はこちらをご確認ください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav_remote-camera-system/lineup/aw-sf100g





NEW

Advanced Auto Framing (オートフレーミング)

2025年度 第1四半期発売予定

プロのカメラマンが操作しているようなオートフレーミングが可能。任意の構図を複数プリセット登録でき、現場の業務効率化と、高品位なコンテンツ制作の両立を実現します。



※ AW-UE160のオートフレーミング機能は、Advanced Auto Framingの一部機能がご使用いただけます。カメラファームウェアとMedia Production Suiteのアップデートが必要な場合があります。

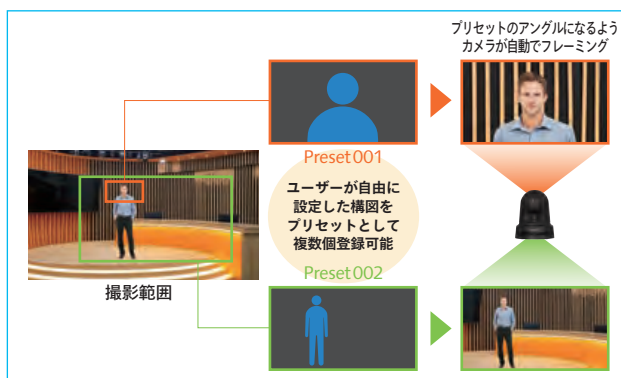
1. ユーザーが指定した構図で、自然な高品位の映像を自動で撮影

プロが操作しているようなオートフレーミング

ユーザーが自由に設定した構図を高精度に再現する構図のプリセット機能により、プロのカメラマンがリアルタイムで操作しているような高品位なオートフレーミングが可能。高度な人体検出/カメラ制御により、被写体が移動するシーンも安定したアングルで撮影でき、ヘッドルームが一定に保たれるなど、クオリティの高いカメラワークを実現します。構図のプリセットは複数個登録でき、被写体が複数人いるようなグループショットを設定することも可能です。

また、顔認証機能をオンにすることで、あらかじめ登録した顔で人物を指定してフレーミングすることもできます。

●プリセットの構図を高精度に再現



2. 使いやすさにこだわり直観的な操作を実現

GUIとリモートカメラコントローラーからの操作に対応

使いやすさにこだわり設計したGUIから直感的に設定・操作することが可能。タブレット/PC対応のソフトウェアのため、タッチパネルを用いて操作することもできます。また、当社製リモートカメラコントローラー AW-RP150GJ/RP60GJとの連携運用にも対応。フレーミング操作のオート/マニュアルをシームレスに切り替えることができ、よりディテールにこだわった撮影が可能です。



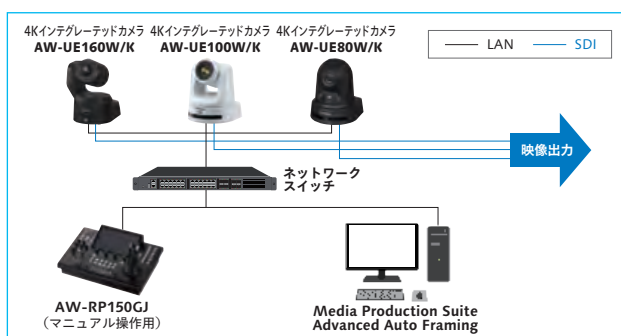
※対応製品・動作環境については順次、パナソニックWebサイトの本製品ページに掲載予定です。

マルチカメラでのオートフレーミング撮影に対応

複数台のリモートカメラを用いたオートフレーミング撮影に対応。GUIのマルチカメラ表示を選択することで、複数台のリモートカメラを一覧してオペレーションすることができず※。1画面から複数のカメラ映像の確認、プリセットの切り替えを行えるため、人員の限られた現場にもマルチカメラ撮影を取り入れることが可能です。

※複数台制御対応のソフトウェアキーをご購入いただいた場合。

●システム構成例





Visual Preset (ビジュアルプリセット)

画面上のアイコンをクリックするだけで複数のリモートカメラを一齐に被写体に向けることが可能。簡単操作でマルチアングルの映像演出を実現します。

90日間
無料
トライアル

Visual Preset ソフトウェアキー

AW-SF300G

本体希望小売価格 185,400 円 (税抜)



1. 効率的な一括制御

ワンクリックで複数台のカメラを同時制御、1つの被写体を様々な角度から撮影

GUI 画面上の Call Trigger アイコンをクリックするだけで、その Group に登録された全てのカメラを被写体に向けることが可能。PC の GUI 画面とマウスを用いた操作なので、映像機器の操作に慣れていなくても直感的に使用できます。さらに、当社製 1.9 GHz 帯ワイヤレスマイクロホンとの連携により、話者にカメラを自動で向けるオート撮影に対応します。

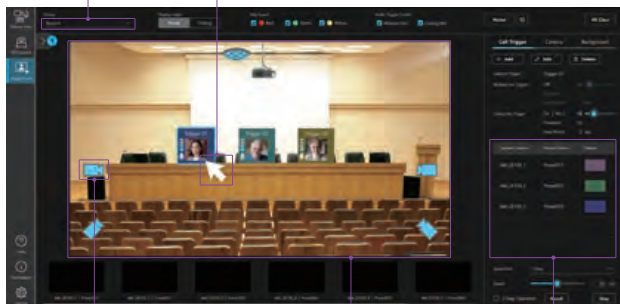
2. 簡単登録・操作

わかりやすい GUI 画面で、簡単に操作・プリセット登録

撮影場所ごとに GUI 画面を設定し、被写体の位置を登録した Call Trigger の管理が可能。カメラ位置を GUI 画面上にアイコンで設定できます。選択中の Call Trigger に含まれるカメラのアイコンがハイライト表示されるため、撮影中のカメラをひと目で把握することが可能です。

登録されている部屋情報を切り替え

Call Trigger のアイコンをワンクリックするだけで、アイコンに紐付けた複数カメラのプリセットを一括呼び出し ※ 2 段階操作でのプリセット呼び出しも設定可能

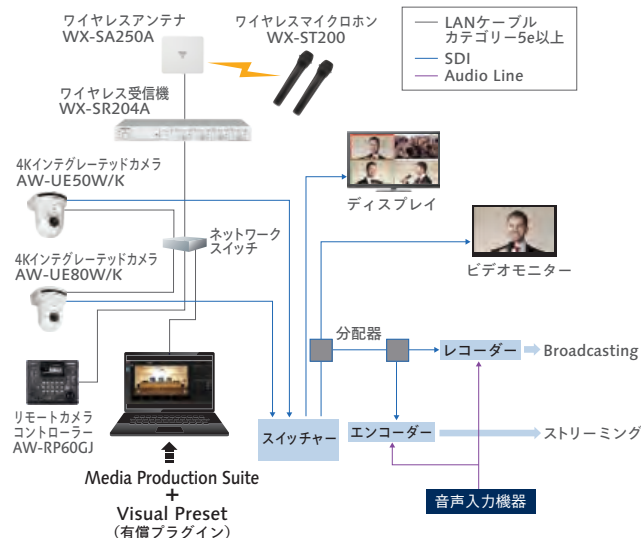


カメラ位置を示すアイコン GUI 画面上の任意の位置に配置でき、選択中の Call Trigger に紐付けられたカメラがハイライト表示される

任意の写真や図を設定可能な GUI 画面

選択中の Call Trigger に登録されているカメラとそれぞれの Preset 番号を一覧で表示

● アプリケーション例 [議場]



● 様々なシーンでビジュアルプリセットが活躍



対応製品・動作環境はこちらをご確認ください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav_remote-camera-system/lineup/aw-sf300





Video Mixer

(映像合成)

撮影場所を選ばず簡単に被写体のキーイングが可能な AI Keying、様々な映像素材を用いた映像合成をシンプルな操作で実現するスマートスイッチャー機能を搭載。

30日間
無料
トライアル

Video Mixer
ソフトウェアキー
AW-SF400G
本体希望小売価格 300,000 円 (税抜)

Video Mixerプラグイン
ご紹介動画
<https://www.youtube.com/watch?v=j8nFtj-8WIk>





簡単操作で
映像合成


1. 場所を選ばず簡単にキーイング・合成が実現できる AI Keying

グリーンバックなしで被写体のキーイングが可能

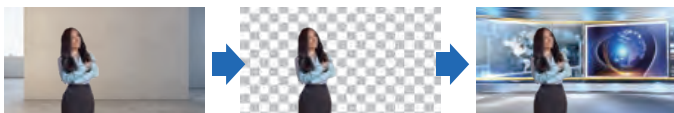
撮影した人物を別の背景と合成するクロマキー合成を行うためには、従来、グリーンバックや照明などの専用設備が必要でした。AI Keying は AI の自動画像認識により人物と背景の分離を行うため、特別な設備を準備せずに会議室や教室、屋外でクロマキーと同様の合成を行うことが可能です。PC1 台で、実用的な映像合成を簡単に実現します。

● 通常的环境中で撮影可能

従来のクロマキー
…グリーンバックや照明などの設備が必要

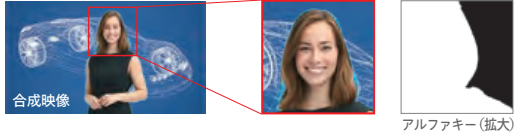


AI Keying
…会議室や屋外など通常的环境中でキーイングが可能




● 高品質な映像合成が可能

Web 会議ツールの画面合成
…人物の周囲に背景が残り、輪郭が粗い



AI Keying による画面合成
…被写体の抽出精度が高いため、細かな部分まで滑らかに分離



※ 画像はイメージです。

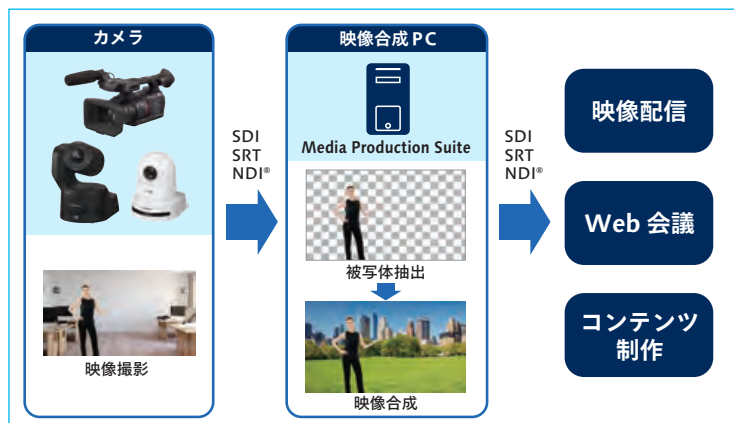
2. 簡単操作で多彩な映像制作を実現

GUI のクリック操作で 簡単に映像を合成、スイッチング

複数の合成パターンを登録でき、1クリックの簡単操作で選択、合成が可能な4入力、2出力のスマートスイッチャー機能を搭載。また、SDI や SRT、NDI[®] 1の入出力にも対応し、様々な素材を活用した映像制作を手軽、かつ簡単に実現します。さらに、当社製ワイヤレスマイクシステムとの連携で、音声検知による自動スイッチングを行うこともできます。^{※2}

※1: NDI[®] は映像伝送・制御技術であり、Vizrt NDI AB の米国およびその他の国における登録商標です。
※2: 将来対応予定

● システム構成例





● 様々なシーンで Video Mixer が活躍

<p>プレゼンテーション</p> <p>資料と発表者を合成し印象的なプレゼンに</p> 	<p>バーチャル対談</p> <p>遠隔地にいる登壇者同士を1つの空間に合成</p> 	<p>番組制作</p> <p>VTR とスタジオ映像の合成を簡単に実現</p> 
--	--	--

※画像はイメージです。

対応製品・動作環境はこちらをご確認ください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav/software/mps/vm>



PTZ バーチャル USB ドライバー

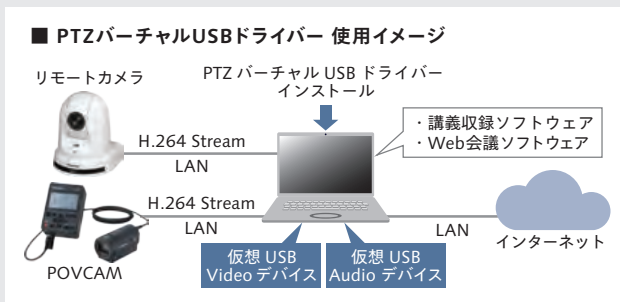
LAN 上の当社製リモートカメラやプロフェッショナルカメラレコーダー※を USB カメラとして認識。PC から離れた場所のカメラも仮想 USB カメラとして使用できます。

※プロフェッショナルカムコーダー/レコーダー AG-CX350、AJ-CX4000GJ

1. 高品質映像での Web 会議や講義を実現

LAN 経由でありながら 仮想 USB カメラとして使用可能

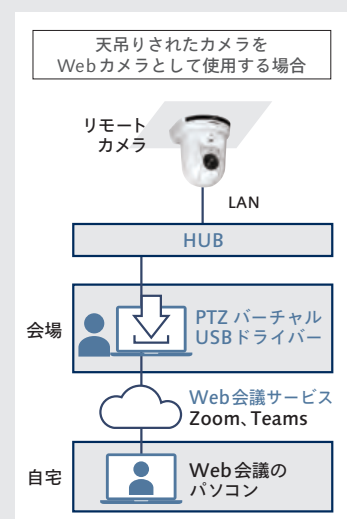
USB 端子を持たないパナソニック製リモートカメラやパナソニック製プロフェッショナルカメラレコーダーに対し、LAN ケーブル経由でありながら仮想 USB カメラと認識させることが可能。Web 会議アプリケーションやレクチャーキャプチャー（講義収録）ソフトウェアと接続して高品質な映像での会議や講義を実現します。



2. PCから離れた場所のカメラも USB カメラとして Web 会議や講義に使用可能

USBケーブルが届かない場所のカメラを USB カメラとして使用可能

USB ケーブルが届かない場所や天吊りで設置されたリモートカメラなどを仮想 USB カメラとして使用できます。また、複数台のリモートカメラを1本の LAN ケーブルで PC に接続して省線化することで、システムをシンプルに設計できます。



動作環境についてはこちらをご覧ください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav_remote-camera-system/lineup/vud



Media Production Suite 有償プラグインをお使いいただくには

Media Production Suite をインストールし、Auto Tracking (自動追尾)、Advanced Auto Framing (オートフレーミング)、Visual Preset (ビジュアルプリセット)、Video Mixer (映像合成)などの有償プラグインをアクティベーションすることでご利用いただけます。無料トライアル期間がある有償プラグインの場合、トライアル期間終了後も継続してお使いいただくには、別途ソフトウェアキーを購入してアクティベーションを行う必要があります。ソフトウェアキーのご購入は販売店までお問い合わせください。

- ① Media Production Suite をインストールしてください。
- ② ソフトウェアキーを販売店へご注文ください。
- ③ キーコードの入った箱が届きます。
- ④ 箱を開けると、キーコードが収められた袋が入っています。Media Production Suite の操作説明書に従って Media Production Suite 上でアクティベーションを行ってください。

すでに自動追尾ソフトウェアキー AW-SF100G/200G/202G/203G、ビジュアルプリセットソフトウェアキー AW-SF300G をご購入いただいている場合、追加購入なしで Media Production Suite の各有償プラグインをお使いいただけます。

本ソフトウェア上で登録する個人情報の扱い

本カタログに掲載されているソフトウェア上で登録する個人の顔写真などの個人情報を、収集、保管、および弊組織内での共有をすることはありません。本ソフトウェア上で登録されるいかなる情報も、自動追尾ソフトウェアがインストールされた環境(PC、サーバー)にのみ保存され、それ以外の場所に保存を行うことはありません。

⚠️ 安全に関するご注意

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 水、湿気、湯気、ほこり、油煙の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。

保証書に関するお願い

- 商品には保証書を添付しております。ご購入の際は必ず保証書をお受け取りの上、保存ください。尚、店名、ご購入期日のないものは無効となります。
・ 補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。

その他の付記事項

- Microsoft®、Windows®、Windows®10、Internet Explorer®は、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。● Apple、Mac、OS X、iPhone、iPod Touch、iPad、Safari は、米国Apple Inc. の米国および他の国で登録された商標です。● Android™はGoogle Inc.の商標または登録商標です。● YouTube™およびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。● NDI®は Vizrt NDI AB の米国およびその他の国における登録商標です。

パナソニックグループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます。

詳しくはこちら



Panasonic GREEN IMPACT

省エネ

省エネを徹底的に追求した製品をお客様にお届けし、商品使用時のCO2排出量削減を目指します。

省資源

新しい資源の使用量を減らし、使用済みの製品などから回収した再生資源を使用した商品を作り、資源循環を推進します。

化学物質

パナソニック製品は、特定の環境負荷物質*の使用を規制するEU RoHS指令の基準値にグローバルで準拠しています。 ※鉛、カドミウム、水銀、六価クロム、特定臭素系難燃剤、特定フタル酸エステル

商品・システム情報を載せたホームページです。ぜひ一度ご覧ください。

connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav



■ 当社製品のお買い物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記にご相談ください。

フリーダイヤル
パナソニック
放送・業務用映像システム
サポートセンター

フリーダイヤル



0120-872-233

携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは <https://archives.connect.panasonic.com/sav/support/>

ご相談窓口における
個人情報のお取り扱いについて

パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

●お問い合わせは…

パナソニック エンターテインメント
&コミュニケーション株式会社
イメージングソリューション事業部

〒571-8503
大阪府門真市松葉町2番15号

このカタログの内容についてのお問い合わせは、左記にご相談ください。

このカタログの記載内容は
2024年10月現在のものです。

SP-C-SOFTJPU2 1-006